

一般質問要旨



地域経済の再生・活性化と新型コロナウイルス対策について



日本共産党 水野 正己

議員 消費増税による景気後退に加え、新型コロナウイルスの影響が経済へ大きな打撃を与えています。本市における事業者支援に対する所見を伺います。

産業環境部長 太田市小規模事業者等応援給付金等、さまざまな支援策を講じてきました。新型コロナウイルス緊急対策資金として中小企業への貸付事業も実施しています。これらは本来、国や県が行うべき施策であり、市としては十分に役割を果たしていると考えます。

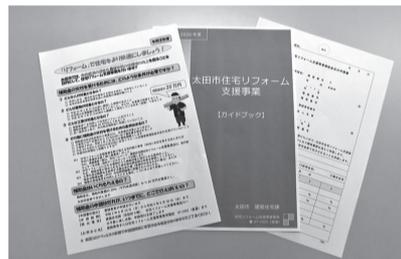
議員 建設業等、工業分野の事業者は太田市小規模事業者等応援給付金をはじめとした給付事業の対象外でした。制度融資に頼るしかない状況にある事業者のため、給付や減収補填等を行うべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 住宅リフォーム支援事業補助金等を活用し、仕事を通じて収入を得てもらいたいと考えます。

議員 住宅リフォーム支援事業補助金については、8月27日までに532件の申

請があり、交付額は約8,700万円、工事費の総額は約5億1千万円、予算は約3千万円しか残っていません。現状で補助金の6倍近くの工事が発注されており、建設業者等への支援としても有効です。本年度の補正予算を組み、申請期限を延ばすべきと考えますが、所見を伺います。

市長 補正予算は考えていません。景気後退により家庭の所得が減少しているため、行政改革により市の全体経費を切り詰め、子どもや子育て世代に向けた事業を重点的に実施したいと考えています。建設業者等には住宅リフォーム支援事業補助金を積極的に申請してもらい、予算を使い切ってほしいと思います。



ひきこもりへの支援と対策について



創政クラブ 大川 陽一

議員 本市におけるひきこもりの世帯数および人数の把握について、また、自立相談支援センターと県保健福祉事務所における相談状況について伺います。

福祉子ども部長 ひきこもりの世帯数および人数は把握していません。令和元年度のひきこもりに関する相談者数は、自立相談支援センターで13人、県の太田保健福祉事務所で20人です。

議員 ひきこもりを中心に複合的な問題を抱える家庭に対応するため、厚生労働省が新たな方針として決定した重層的支援体制整備事業の内容を伺います。

福祉子ども部長 介護、障がい、子ども、困窮等の相談窓口において、それぞれの支援部署では対応が難しい事例に対して支援プランを作成し、他機関との共同により家族会等の居場所づくり等、その後の支援につなげていくものです。

議員 SDGsの目標でもある誰一人取り残さない世界を実現するためにも、本市において切れ目のない、断らない包括的

な重層的支援体制整備事業に取り組むべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 弱者に対応できる力こそがまちの力であり、行政の大きな役割です。来年度に、複合的な問題を一括して受け付けられる組織をつくりたいと考えます。専門的な人材の確保が課題ですが、それにこだわってはい事業が始められませんので、事業の進行と有資格者の発掘を併せて行っていきたいと思ひます。また、国からの財政的な支援がなければ有効な体制が取れませんので、国や県と相談しながら頑張っていきたいと思ひます。

■その他の質問

・豪雨災害の課題と対策について



子育て支援の充実について



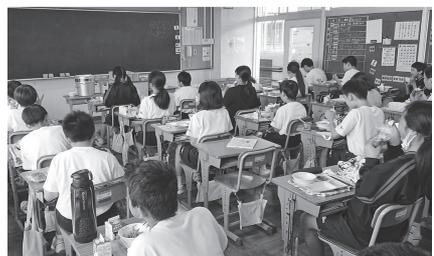
公明クラブ 星野 一広

議員 本市で行っている子育て支援事業の内容を伺います。

福祉子ども部長 第1子は国が、第2子は県が、第3子以降は市町村が支援すべきとの考え方にに基づき、平成20年度から第3子以降子育て支援事業を開始し、出産祝い金の支給や給食費の助成等を行っています。またコロナ禍においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園とした令和2年4月分の保育料を全額、市の負担としました。

議員 義務教育における家庭での給食費の負担額を伺います。

教育部長 1人当たりの月額は小学生で4,400円、中学生で5,300円です。年



額とすると8月を除く11カ月分で、それぞれ4万8,400円、5万8,300円です。

議員 新型コロナウイルス感染症は経済に大きな打撃を与え、その影響は各家庭に及んでいます。子育て世帯に必ずのしかかる費用の中でも、最も負担が大きいものの一つが給食費です。コロナ禍において、市として実現可能な基本的なサービスとして、給食費の支援拡充が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 日本の経済を背負う子育て世代が苦しんでいる状況です。また、県の人口は20年後には約40万人減少すると推測され、危機的な状況と感ずます。そこで、市としては未来を担う働き盛りの世代や子どもたちへの予算配分を重視したく、第2子の給食費を来年度から無料にしたいと考えます。限られた予算ですので、全体の経常経費の在り方を検討し、調整を図っていききたいと思ひます。

■その他の質問

・コロナ禍の中での災害避難について



本市の新型コロナウイルスの影響と今後の施策について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 本市で発生した新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがある事例について、現状を伺います。

健康医療部長 市内の感染者の入院先、病状や回復具合、退院等の情報に関しては県から提供されないため、市としては市民に対して感染拡大防止の啓発等に努めるにとどまっているのが現状です。

議員 コロナ禍での本市の観光に関する対策の現状と今後について伺います。

産業環境部長 太田市観光物産協会では、加入施設の宿泊者を対象に本市の物産品をプレゼントする「泊ってもらおうキャンペーン in OTA」を7月に実施しました。今後も感染予防対策を講じながらイベント等を実施したいと思ひます。

議員 公開可能なものについては最新情報の提供に努め、市民の不安を払拭すべきです。市長の所見を伺います。

市長 全国的にプライバシーの保護が重要視されており、^{ひぼう}誹謗中傷を避けるためにも現状を維持すべきと思ひます。市や

県において公開している情報の提供については、スマートフォンでホームページにアクセスしやすい環境づくりを担当課で研究したいと思ひます。

議員 コロナ禍により多くの観光イベントが中止となり、約1,600万円の不用額が見込まれます。市に活気をもたらすため、シークレット花火等のイベントを行うことについて所見を伺います。

市長 花火は上げる場所が限られますので、街路でのイルミネーション等、そこを通る人に元気を与えられるようなまちなかでのイベントを考えています。



■その他の質問

・工事請負契約の現状と課題について